

アネスト岩田株式会社 2025年3月期2Q 決算補足説明資料

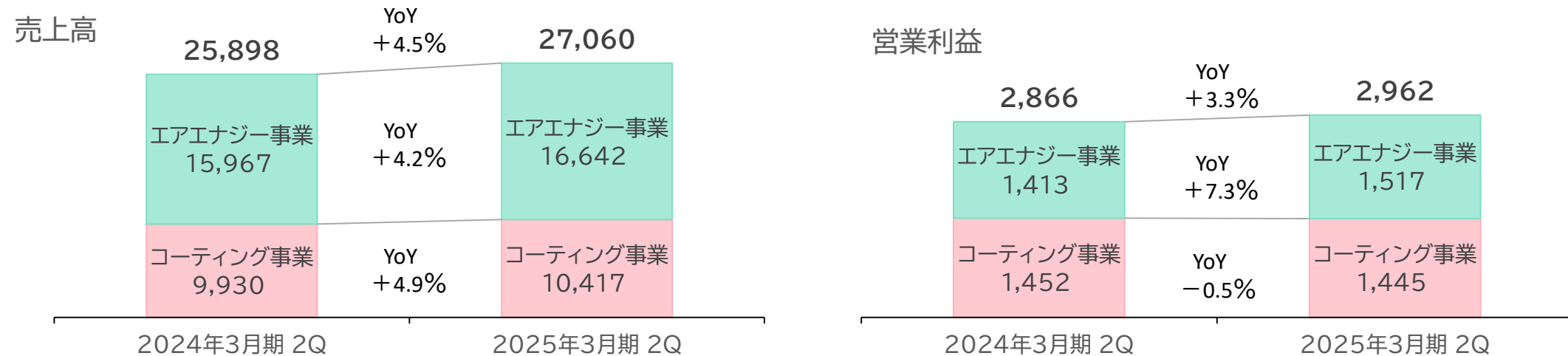
2024年11月11日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

2025年3月期2Qの実績

- 売上高は27,060百万円(前期比+4.5%)で増収。欧米の塗装機器や中国の圧縮機輸出販売が売上を牽引
- 営業利益は2,962百万円(同+3.3%)で増益も、人件費の増加により販売管理費率が上昇
- 経常利益及び当期純利益は、為替差損の発生などにより減益
- 中間配当は、計画通り一株当たり22円で実施



2025年3月期の見通し

- 通期業績及び年間配当については、前回見通し(2024年5月9日発表)を据え置き

増収効果や売上原価率の改善などにより営業利益は増益に転じるも、為替動向の変化により経常利益・当期純利益は減益が継続

- 売上高における為替の影響は+1,693百万円
- 為替損益は今期1Q以降の円高により、120百万円の為替差損が発生

	2024年3月期2Q		2025年3月期2Q		前年同期比			2025年3月期業績予想	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化(pts)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	25,898	—	27,060	—	+1,162	+4.5	—	58,000	46.7
営業利益	2,866	11.1	2,962	10.9	+95	+3.3	-0.1	6,800	43.6
経常利益	3,951	15.3	3,462	12.8	-488	-12.4	-2.5	7,800	44.4
親会社株主 帰属純利益	2,623	10.1	2,194	8.1	-428	-16.3	-2.0	4,950	44.3
平均為替レート 円/米ドル	134.85円		152.25円		17.40円 円安			145.00円	
平均為替レート 円/ユーロ	145.79円		164.60円		18.81円 円安			156.33円	
平均為替レート 円/人民元	19.45円		21.05円		1.60円 円安			19.95円	
中間配当	22円		22円		配当予想			期末:28円	年間:50円

【為替の感応度について】営業利益ベースによる傾向値(下記にて通貨割合は反映されておられません)

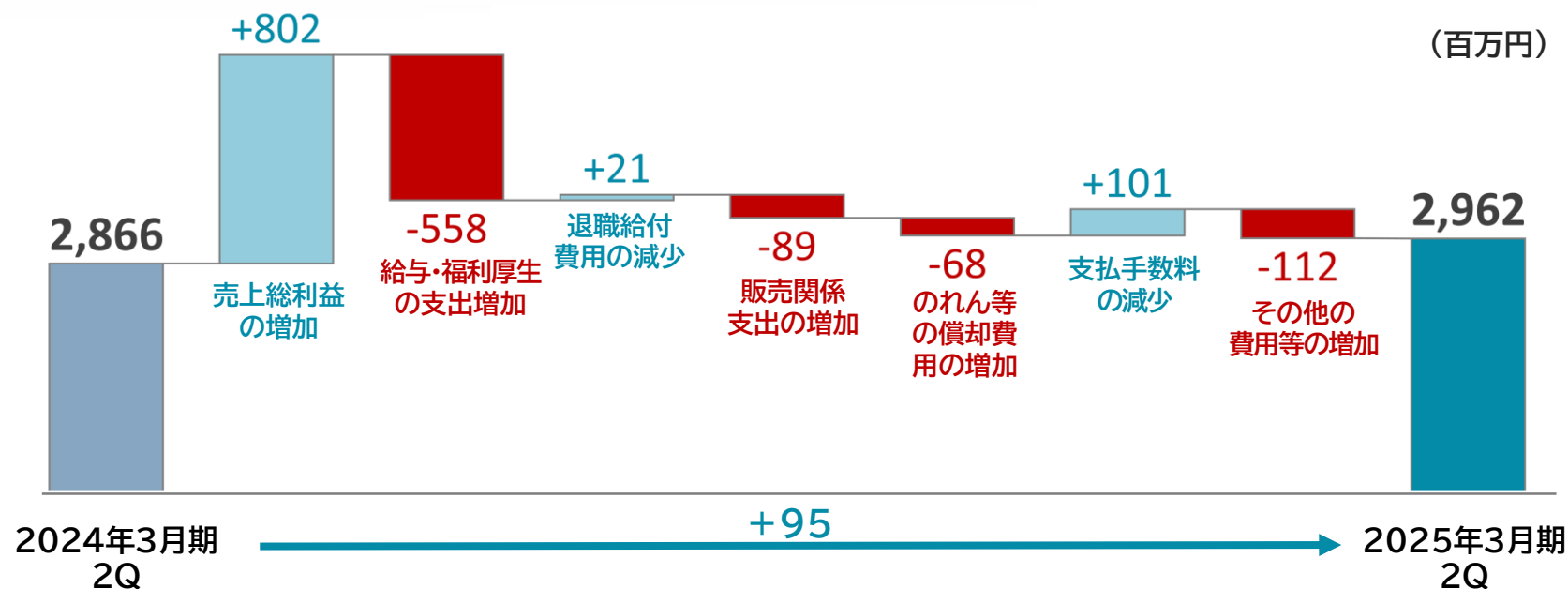
1円の円安にて、米ドル:10百万円/年、ユーロ:10百万円/年、人民元:30百万円/年、それぞれ増加

売上高は前期比増収も上期予想には届かず。人件費を中心に販管費の増加が想定以上で推移

(単位:百万円)	上期予想	上期実績	差額
売上高	28,800	27,060	-1,740
営業利益	3,120	2,962	-158
経常利益	3,630	3,462	-168
親会社株主 帰属純利益	2,270	2,194	-76

- エアエナジー
 - [-] 圧縮機:
 - ・日本の中小企業における設備投資需要の回復にばらつき (=日本の圧縮機業界全体における出荷台数の低迷)
 - ・欧州OEM先の需要動向の急激な変化
 - コーティング
 - [-] 塗装機器: 中国景気の停滞を受けた同国内需要の低迷が長期化
 - [-] 塗装設備: 日本における自動車生産に係る案件獲得ペースに遅れ
- [-] 売上計画未達の影響により売上総利益が計画対比で減少
- [-] 海外を主とした想定を超える人件費の増加
- [-] 為替レートの変動による為替差損の発生

人件費の増加を主因として販売管理費率は上昇するも、原価率の改善が進んだことで増益



[+] 売上原価率の改善: 54.1% (前年同期比 -1.0pts)

- 利益率の高い塗装機器の売上増加や塗装設備の販売減少により商品ミックスに変動が生じたことなどに起因して原価率が低下
- 売上原価(14,637百万円: 同 +360百万円)における為替の影響は、+976百万円

[-] 販売管理費比率の上昇: 35.0% (同 +1.2pts)

- 人材確保を目的とした賃上げなどの影響により、欧州・米州・中国を中心に人件費が増加
- 日本における開発スピード向上を目的とした試作棟の建設などに関連して減価償却費が増加(同 +91百万円)
- 販売管理費(9,460百万円: 同 +706百万円)における為替の影響は、+540百万円

欧米の塗装機器販売や中国からの圧縮機輸出販売が好調で、日本の減収をカバー

	2024年3月期2Q		2025年3月期2Q		前年同期比		
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)	構成比変化(pts)
日本	9,085	35.1	8,814	32.6	-271	-3.0	-2.5
欧州	4,184	16.2	4,705	17.4	+521	+12.5	+1.2
米州	3,316	12.8	3,693	13.6	+377	+11.4	+0.8
中国	5,445	21.0	5,951	22.0	+506	+9.3	+1.0
その他	3,866	14.9	3,896	14.4	+30	+0.8	-0.5
合計	25,898	—	27,060	—	+1,162	+4.5	—

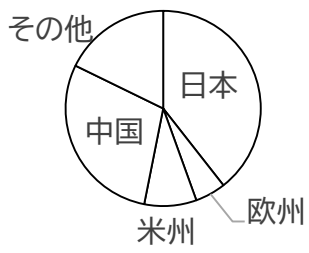
(注)1. 日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生
 2. セグメント区分: その他=中国除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

日本市場における圧縮機出荷台数の減少※1や中国景気の減速といった厳しい環境下でも、特定市場向け※2や中国からの輸出販売の堅調さに支えられ、売上は底堅く推移

区分	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q	前年同期比		概況	
			増減額	増減率 (%)		
売上高	圧縮機	14,522	15,133	+610	+4.2	(日本) ↑ 販促キャンペーン効果に加え、医療向け圧縮機の売上が伸長 ↓ 国内需要全体は軟調 (欧州) ↓ OEM先の需要動向の変化によりオイルフリー圧縮機の売上減少 (中国) ↑ SCR社※3の輸出販売が堅調に推移 ↓ 景気減速により中国内の需要減少
	真空機器	1,445	1,509	+63	+4.4	(米州) ↓ 前期に見られたスポット需要がなく真空ポンプの売上が減少 (中国) ↑ 電子機器の製造に関連する装置メーカー向け真空ポンプの売上が増加
	合計	15,967	16,642	+674	+4.2	
営業利益	エアエナジー	1,413	1,517	+103	+7.3	営業利益率: 9.1%(前年同期比+0.3pts)※4 ↓ 真空ポンプの原価率が上昇 ↑ SCR社の調達プロセスの見直しなどにより圧縮機の原価率が改善

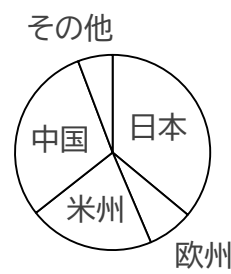
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※5】

圧縮機(コンプレッサ)



- 日本 : ○
- 欧州 : ×
- 米州 : △
- 中国 : ◎
- その他 : △

真空機器



- 日本 : △
- 欧州 : ◎
- 米州 : ●
- 中国 : ◎
- その他 : ×

※1 日本産業機械工業会調べ
 ※2 特定市場=医療、車両搭載、分析などの特定用途
 ※3 SCR社=上海斯可絡圧縮機有限公司(中国子会社)
 ※4 (製品別利益率のイメージ)
 真空機器 > 塗装機器 > 圧縮機 > 塗装設備
 ※5 (前年同期比)
 ◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3%
 ▽:0%~-3% ●:-3%~10% ×:-10%~

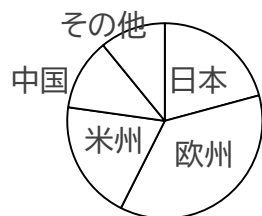
日本において塗装設備の回復が遅れているが、欧米の塗装機器の売上が拡大したことで増収

	区分	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q	前年同期比		概況
				増減額	増減率 (%)	
売上高	塗装機器	8,282	9,172	+889	+10.7	(日本) ↓ 前期に販売中止したスプレーガンの影響が残存 ・販売台数減少もシェアは維持 (欧州・米州) ↑ 自動車補修市場向けスプレーガンや木工市場向け塗装用ユニットの売上が好調に推移 (米州) ↑ エアブラシの売上が回復
	塗装設備	1,647	1,245	-401	-24.4	(日本) ↓ 設備投資動向に伴う期初受注残の不足により売上減少 (中国・インド) ↑ 輸送用機器及び自動車部品向け塗装設備の売上が増加
	合計	9,930	10,417	+487	+4.9	
営業利益	コーティング	1,452	1,445	-7	-0.5	営業利益率:13.9%(前年同期比-0.7pts)*1 ↓ 売上減少に伴う塗装設備の利益率の悪化

(注)今期より、塗装時の作業環境を改善する「環境装置」の製品区分を「塗装機器」から「塗装設備」に変更いたしました。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載しています

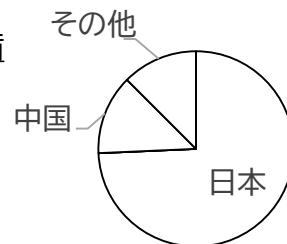
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比*2】

塗装機器



日本 : △
 欧州 : ◎
 米州 : ◎
 中国 : ●
 その他 : ▽

塗装設備



日本 : ×
 欧州 : -
 米州 : ×
 中国 : ◎
 その他 : ◎

*1(製品別利益率のイメージ)
 真空機器 > 塗装機器 > 圧縮機 > 塗装設備

*2(前年同期比)
 ◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3% ▽:0%~-3%
 ●:-3%~10% ×:-10%~

更なる成長を見据えた本社試作棟の建設や圧縮機の生産設備投資により固定資産が増加
 自己資本率は68.1%(前期末比+1.3pts)

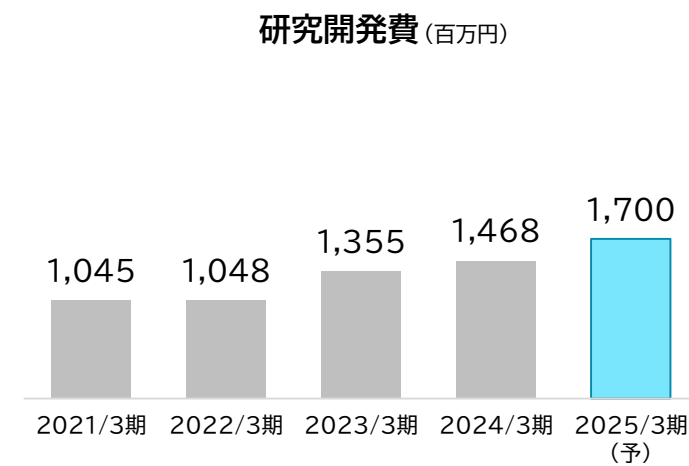
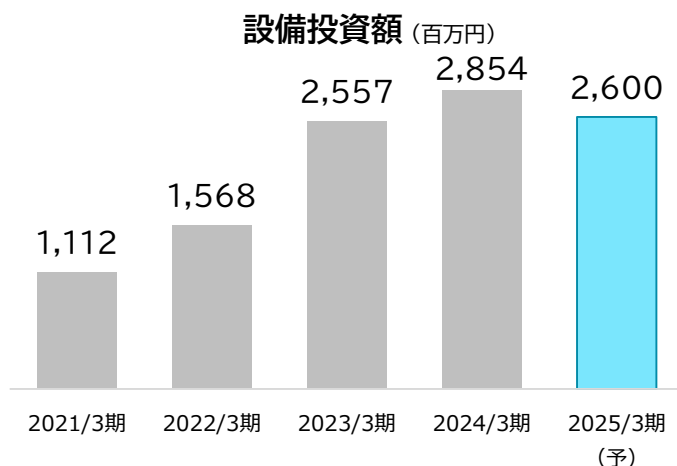
		2024年3月期 通期期末	2025年3月期 2Q	対前期末差異		
		実績 (百万円)	実績 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
資産	流動資産	40,571	42,267	+1,696	+4.2	・「受取手形及び売掛金」の増加 +1,314百万円
	固定資産	25,573	26,863	+1,290	+5.0	・「建物仮勘定」の増加 +384百万円
	資産	66,144	69,131	+2,986	+4.5	
負債及び 資本	流動負債	12,789	12,275	-513	-4.0	・「未払法人税等」の減少 -609百万円
	固定負債	3,280	3,380	+100	+3.1	・「退職給付に係る負債」の減少 +50百万円
	負債	16,069	15,656	-413	-2.6	
	株主資本	39,737	40,571	+833	+2.1	
	その他の包括利益 累計額	4,421	6,520	+2,099	+47.5	・「為替換算調整勘定」の増加 +2,207百万円
	非支配株主持分	5,915	6,382	+467	+7.9	
	純資産	50,074	53,474	+3,399	+6.8	
負債・純資産	66,144	69,131	+2,986	+4.5		

事業戦略の中核であるインドにおける中形圧縮機の生産設備に関する投資を継続中。そのほか、両事業の製品開発スピード向上を目的とした試作棟を本社に建設中

- 本社試作棟は、2025年夏ごろに完成予定。試作工程の機能強化により開発サイクルの短縮を目指す

(百万円)	2025年3月期2Q 実績		
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*
実績	1,536	1,095	878
計画	2,600	1,960	1,700
進捗率	59.1	55.9	51.7
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・試作棟の建設 ・生産ラインの更新・増強 ・各種工作機械等(新設・更新) ・IT関連投資 		

(注)研究開発費:研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値



現段階では前回予想(2024年5月発表)を据え置き。今後は、事業環境の変化を慎重に見極めて適宜見直し

- 中国の景気減速、各国の金融政策、為替の動向、地政学リスクの高まりなどの業績への影響を見通せない状況が継続
- 下半期は欧米を堅持しつつ、成長市場であるインドなどにおいて今期施策をやり切り、通期計画の達成に向けて活動していく

		2024年3月期
		実績 (百万円)
売上高		53,425
エアエナジー	圧縮機	30,302
	真空機器	2,983
	小計	33,286
コーティング	塗装機器	17,851
	塗装設備	2,288
	小計	20,139
営業利益		6,176
エアエナジー		3,357
コーティング		2,818
経常利益		7,986
親会社帰属当期純利益		4,931
平均為替レート	円/米ドル	140.56
	円/ユーロ	152.00
	円/人民元	19.82

2025年3月期(予想)		
目標値 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
58,000	+4,574	+8.6
—	—	—
—	—	—
35,600	+2,313	+7.0
—	—	—
—	—	—
22,400	+2,260	+11.2
6,800	+623	+10.1
3,685	+327	+9.7
3,115	+296	+10.5
7,800	-186	-2.3
4,950	+18	+0.4
145.00	4.44 円 円安	
156.33	4.33 円 円安	
19.95	0.13 円 円安	

2025年3月期2Q	
実績 (百万円)	進捗率 (%)
27,060	46.7
15,133	—
1,509	—
16,642	46.7
9,172	—
1,245	—
10,417	46.5
2,962	43.6
1,517	41.2
1,445	46.4
3,462	44.4
2,194	44.3
152.25円	
164.60円	
21.05円	

人件費や中期的な業績拡大に向けたコスト増が見込まれるも、海外収益の拡大が支出分をカバー

想定される事業環境

- エネルギー・資源価格や物流コストをはじめ原材料価格や部材の仕入れ価格の上昇を見込む
- 為替水準については、各国の金融政策に伴い当初の円安基調からの変化を見込む(想定為替レートは据え置き)
- 中国市況においては回復に時間を要しているが、年度末にかけては緩やかな回復を見込む

2025年3月期 (百万円)	予想	前年同期比
売上高	58,000	+8.6%
-エアエナジー	35,600	+7.0%
-コーティング	22,400	+11.2%
営業利益	6,800	+10.1%
-エアエナジー	3,685	+9.7%
-コーティング	3,115	+10.5%
経常利益	7,800	-2.3%
当期利益	4,950	+0.4%

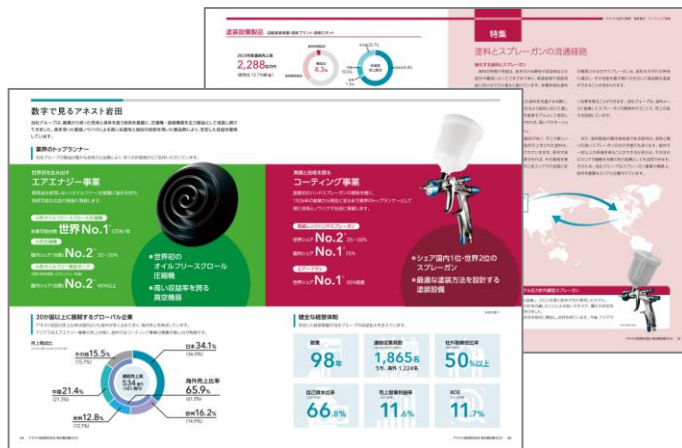
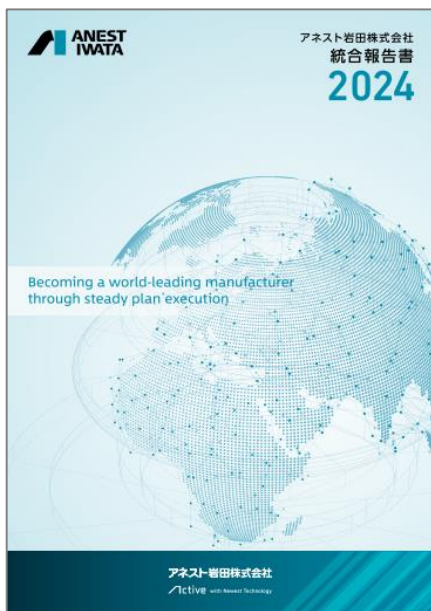
- 海外販売が全体売上を牽引
 - エアエナジー:中国SCR社の輸出やインド市場向け圧縮機販売の拡大
 - コーティング:米州での新型スプレーガンの発売による需要拡大、工業塗装市場の開拓
- 特に、中国における設備投資意欲の回復は緩やかと見込む
- 売上原価率は2024年3月期と同水準を見込む
- すべてのエリアで人材投資を含めた人件費が増加
- 研究開発投資や設備投資、IT投資などの積極的な成長投資を継続(支払手数料の増加)
 - 用途は、開発環境の整備や生産設備の増強・更新、M&A検討及び新規事業開拓など
- 売上拡大による売上総利益増加により投資費用をカバー
- 為替差益の減少

「統合報告書2024」(日本語版)を公開

2024年9月に当社コーポレートサイトにて公開
同年12月には英語版を発行予定

主なコンテンツ(全71ページ)

- 暮らしの中のアネスト岩田
- 中期経営計画「500&Beyond」/事業概況
- 社長インタビュー/社外取締役メッセージ
- 環境(Scope1~3、シナリオ分析など)
- 人材やコーポレートガバナンスなどの非財務情報



URL: <https://www.anestiwata-corp.com/jp/ir/library/integrated-report>



脱炭素活動

国内主要事業所3か所での使用電力を再エネ化

2024年6月~

本社・秋田工場・福島工場において使用している高圧電力の100%を再生可能エネルギー由来の電力に切り替え

見込み削減排出量

年間約 **4,550t-eCO₂** (2023年度ベース)

※2023年度排出量(国内外) 11,910t-eCO₂

IR活動

コーティング製品生産のマザー工場である秋田工場に 機関投資家の皆様を招待し、説明会を実施

実施日: 2024年10月18日(金)

参加人数: 9名

生產品目: スプレーガン、塗料供給機器など

2025年度は圧縮機製造のマザー工場である福島工場での見学会を開催予定



- 営業利益: 売上原価率は改善も、人件費の増加などにより販売管理費率は上昇
- 営業外費用: 為替差損+120百万円が発生(前年同期は為替差益+561百万円)

	2024年3月期2Q		2025年3月期2Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pts)
売上高	25,898	—	27,060	—	+1,162	+4.5	—
売上原価	14,277	55.1	14,637	54.1	+360	+2.5	-1.0
売上総利益	11,620	44.9	12,423	45.9	+802	+6.9	+1.0
販売管理費	8,754	33.8	9,460	35.0	+706	+8.1	+1.2
営業利益	2,866	11.1	2,962	10.9	+95	+3.3	-0.1
営業外収益	1,128	4.4	717	2.7	-411	-36.4	-1.7
営業外費用	43	0.2	217	0.8	+173	+399.9	+0.6
経常利益	3,951	15.3	3,462	12.8	-488	-12.4	-2.5
特別利益	20	0.1	3	0.0	-17	-83.1	-0.1
特別損失	10	0.0	3	0.0	-6	-66.4	-0.0
税金等調整前純利益	3,961	15.3	3,462	12.8	-499	-12.6	-2.5
法人税等	920	3.6	795	2.9	-124	-13.5	-0.6
非支配株主帰属純利益	417	1.6	471	1.7	+53	+12.8	+0.1
親会社株主帰属純利益	2,623	10.1	2,194	8.1	-428	-16.3	-2.0

【累計】

単位:百万円		2025年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,484	27,060		
前年同期比		+2.5%	+4.5%		
エアエナジー	圧縮機	6,862	15,133		
	前年同期比	+1.0%	+4.2%		
	真空機器	748	1,509		
	前年同期比	+0.5%	+4.4%		
	売上高	7,611	16,642		
前年同期比		+0.9%	+4.2%		
コーティング	塗装機器	4,348	9,172		
	前年同期比	+8.2%	+10.7%		
	塗装設備	524	1,245		
	前年同期比	-14.7%	-24.4%		
	売上高	4,872	10,417		
前年同期比		+5.2%	+4.9%		
営業利益		1,017	2,962		
前年同期比		-19.9%	+3.3%		
エアエナジー	営業利益	577	1,517		
	前年同期比	-7.9%	+7.3%		
コーティング	営業利益	441	1,445		
	前年同期比	-31.5%	-0.5%		

【3か月ごと】

単位:百万円		2025年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		12,484	14,575		
前年同期比		+2.5%	+6.2%		
エアエナジー	圧縮機	6,862	8,270		
	前年同期比	+1.0%	+7.1%		
	真空機器	748	760		
	前年同期比	+0.5%	+8.6%		
	売上高	7,611	9,030		
前年同期比		+0.9%	+7.2%		
コーティング	塗装機器	4,348	4,824		
	前年同期比	+8.2%	+13.1%		
	塗装設備	524	720		
	前年同期比	-14.7%	-30.2%		
	売上高	4,872	5,545		
前年同期比		+5.2%	+4.7%		
営業利益		1,017	1,944		
前年同期比		-19.9%	+21.8%		
エアエナジー	営業利益	577	939		
	前年同期比	-7.9%	+19.4%		
コーティング	営業利益	441	1,004		
	前年同期比	-31.5%	+24.2%		

塗装用スプレーガンとそれを検査するコンプレッサの製造から出発

1926年創業
(旧社名:岩田製作所)

製品の差別化を
可能にしたコンセプト

・環境対応
・塗面作成の提案力



塗装ロボット エアブラシ

製品の多様化
用途の開拓

コーティング事業
エアエナジー事業

米国社製を手本に
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

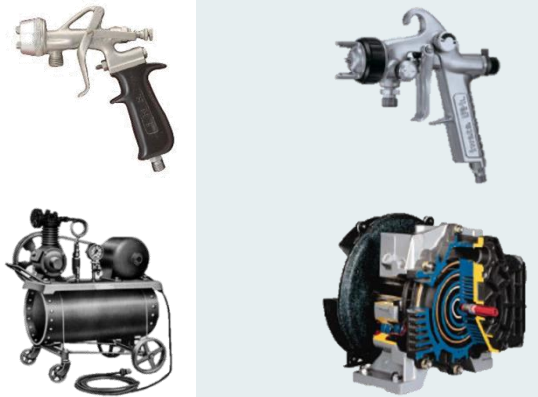
塗装用ハンドガン

圧縮空気で
塗料を霧状に

空気圧縮機

コンプレッサ

スプレーガンの検査用
圧縮機として製造開始



・オイルフリー化
・省エネ性



オイルフリースクロール型真空ポンプ
オイルフリースクロール型圧縮機

塗装機器 塗料等の液体を霧状にする工具、または液体を搬送する機械

スプレーガン、塗料供給ポンプなどの機器単体

塗装設備 塗装の前後工程を一連の流れとした設備

塗装機器と塗装ロボット、換気や乾燥装置等を組み合わせたシステム

圧縮機 空気を主とした気体を圧縮する機械

空気圧縮機、N2ガス発生装置、タンクなどの補器類

真空機器 気体を吸引して減圧し、真空状態をつくる機械

真空ポンプ、バルブなどの補器類

将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先: アネスト岩田株式会社
経営企画部 IR・コーポレートコミュニケーション室
TEL: 045-591-9344
E-mail: ir_koho@anest-iwata.co.jp
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>